

地域づくりのプラットフォーマーを目指して

地域共創



地域共創

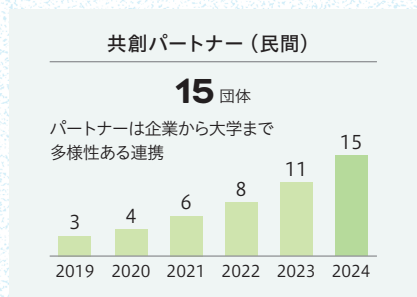
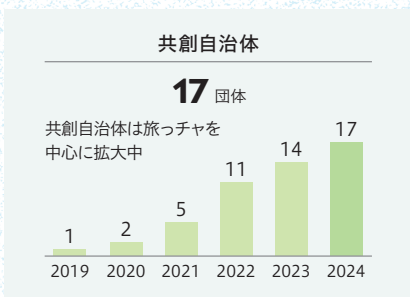
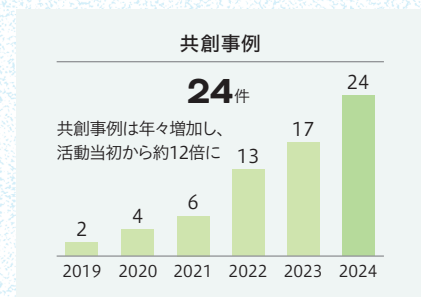
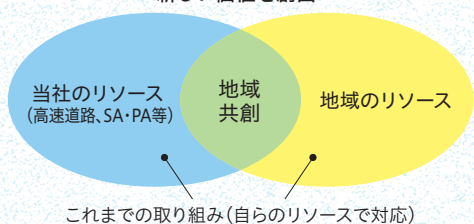
地域と共に、新しい価値を創る

地域共創活動は、地域と当社グループがお互いのリソースを活かし合い、持続可能な地域づくりにチャレンジする取り組みです。

当社グループはこれまで、高速道路等のインフラを活用し、地域の観光産業等の既存市場に対してその効果を発揮してきました。地域課題が多様化する今、既存市場に依存するだけでなく、人と地域をつなぐ力を持つインフラ企業として、地域主体による新たな価値創造を引き出す役割も担う必要があると考えています。

私たちは地域と共に、新しい価値を創る「地域づくりのプラットフォーマー」を目指し、挑戦しています。

お互いのノウハウ・リソースを持ち寄り、解決困難な地域課題に取り組むことで、新しい価値を創出



移動シーンを3つに分割したプロジェクト

当社グループの地域共創は都市と地域を結び付け、観光・文化・産業などの地域の価値を引き出すことを目的に活動しています。

地域の価値を最大化させるために、移動のシーンを『旅マエ・旅ナカ・旅サキ』に分割して、各シーンに合わせたプロジェクトに取り組んでいます。

旅ナカ 偶発性とお得感で地域へ送客 クルマ旅キャンペーン「旅っチャ」

旅先で使えるお得なグルメチケット等が入った「運試し型のチケット販売機」をSA・PAに設置し、クルマ旅での偶発性と体験性を演出するキャンペーン「旅っチャ」。高速道路網を活用した広域的な誘客をベースに、SA・PAをお客さまと地域をつなぐタッチポイントとして活用。旅する気持ちを後押しするような企画を自治体や地元企業の皆さまと共創し、地域の魅力にお得にアクセスしていただく機会を提供しています。



旅マエ 九州各地と福岡都市圏を結ぶ架け橋に 産学共創プロジェクト KSUちはやサービスエリア

九州産業大学、高橋(株)(福岡市東区千早に所在するガーデンズ千早の運営会社)と連携し、高速道路のサービスエリアを模したアンテナショップを学生が主体となって企画運営するプロジェクト『KSUちはやサービスエリア』をプロデュースしました。

第一弾として、2024年8月から約1ヵ月間、ガーデンズ千早内に「大分・佐伯サービスエリア」を期間限定で出店。学生が実店舗運営という実践的な経験を積む場を産学共創で実現するとともに、学生が地域と都市をつなげる役割を担い、佐伯市の魅力を福岡都市圏に発信しました。今後、地域と都市を結ぶ新たな交流機会の創出を目指します。



学生からの声 地域の魅力を「自分事として語る」

事前のフィールドワークや店舗運営を通して、外部の人間が地域の魅力を発信するには「地域の当事者としての視点」が大事だと学びました。実際にサービスエリアを訪れてくれた方に「佐伯市を自分事として語る」ことを意識して紹介すると、楽しそうに聞いてくださることが多く、当事者視点で魅力を伝えることにやりがいを感じました。今後、自分がこれまで知らなかった地域を紹介するときはもちろん、自分の地元のことを紹介するときにも「自分事」として魅力を紹介していきたいと思っています。

九州産業大学 地域共創学部 観光学科
西井田 直登(写真中央)



学生の声は
音声メディア
『関門ON AIR』で
配信中



旅ナカ 旅サキ SA・PAがない沿線地域の魅力も届けたい 動くサービスエリア たかはるSA

宮崎県高原町、奥霧島地域商社ツナガルたかはる(株)との連携協定に基づくプロジェクトの第一弾として、2024年5月から「動くたかはるSA」が始動。SA・PAが位置しない町にも、地域名称を冠した場でお客さまが地域産品等に触れられる機会を創りたいとの想いから、高速道路会社では初となるキッチントレーラーを活用した移動式サービスエリアが誕生しました。高原町産の米粉を使用したチュロスや九州道 宮原SA(上)(熊本県)などで販売することで、高原町の魅力発信・交流人口増につながっています。

